

# 船長による保証陳述 (Captain's Statement) の書き方

【複数の航海を対象として1通で申告する場合：FAX送信用】

まず記入する様式を入手してください。水産物トレーサビリティ協議会の以下のweb ページからダウンロードできます。http://jast.fmric.or.jp/caldap\_cs.html

続いて、以下の記入例(青字)を参考に記入してください。

1通のCaptain's Statement の様式に、複数の航行について記入できます。ただし輸出関係者は、漁港での陸揚げから早ければ2週間後にこの書類を必要とします。そこで、最初の陸揚げから2週間以内に作成し、FAX で送信するよう、ご協力をお願いします。

## 船長による保証陳述/Captain's Statement

漁船名/Fishing Vessel Name: No.85 Nippon Maru

漁船の旗国/Fishing Vessel Flag: 日本/Japan 漁船登録番号/Reg.No: TX2-123

| 漁船の航行期間/Trip Dates |             | 漁獲水域(※) /Area Fish was Harvested |
|--------------------|-------------|----------------------------------|
| 開始日/Begin          | 終了日/End     |                                  |
| 10                 | 14 May 2020 | WP                               |
| 17                 | 21 May 2020 | ↓                                |
| 24                 | 28 May 2020 | ↓                                |
| 31 May             | 4 Jun 2020  | ↓                                |
|                    |             |                                  |

※日本近海の場合、北緯 40 度より北ならば「NP」、北緯 40 度より南なら「WP」と記載します。

私、Hiroshi Amino は、上記の漁船の船長として、今回の航行で、  
(活字体のアルファベットで記入)

イルカを取り囲む目的で巾着網またはその他の漁具が故意に使用されることはなかったこと、ならびに、マグロを捕獲するのに使用された網やその他の漁具によりイルカが殺されたり重傷を負うことがなかったことを、ここに保証します。また、私はアメリカ政府海洋漁業局マグロ追跡・認証プログラムの、ドルフィンセーフプログラム、船長用研修コースを修了したことを、ここに保証します。

As captain of the above named fishing vessel, I hereby certify that no purse seine net or other gear was intentionally deployed on or used to encircle dolphins during the fishing trip and that no dolphins were killed or seriously injured in the sets or other gear deployments in which the fish were caught. I also certify that I have completed the National Marine Fisheries Service Tuna Traceability Verification Program's dolphin-safe captain's training course.

網野 洋

船長の署名/Captain's signature

4 Jun 2020

署名日(Date)

### 漁獲水域:

日本近海の場合

- ・北緯40度より北 NP  
(North Pacific Ocean)
- ・北緯40度より南 WP  
(Western Pacific Ocean)

海域が同じ場合は、まとめて記入することができます。

### 船長の氏名:

アルファベットで記入

### 船長の署名:

署名は漢字、アルファベットどちらでも可。この署名の欄は、入力ではなく、書くことが必要です。

お問い合わせ先：水産物トレーサビリティ協議会 ((一社)食品需給研究センター内)

担当: 酒井

TEL: 03-5567-1991

メール: jast@fmric.or.jp